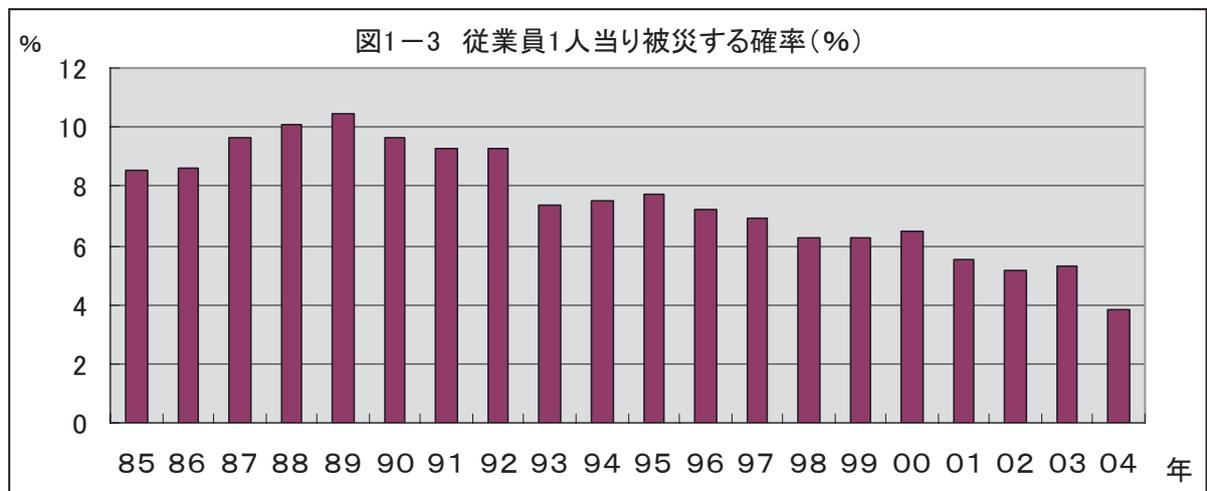


また、過去20年間で30件の死亡事故を含む重篤災害が年間平均5件報告されています。従業員一人当たり年間に被災する確率は年々減少の傾向にありますが、2004年（平成16年）現在4%弱を示しています（図1-3参照）。



障害部位、傷病名別休業災害件数を、平成11年～14年の合計と、平成16年に分けて図1-4に、作業工程別の休業災害件数を同様に、図1-5に示します。

（資料出所：（社）日本鋳造協会提供の資料により作成）